



開かれた未来へ。

筑波大学

University of Tsukuba

第3回RA協議会年次大会 セッションB-3

URAの定着に向け、私たちはどのような URAを目指すか？

※おねがい※

**本セッションの参加者は、別添のワークシートを事前にご記入頂き、
当日ご持参くださるようお願いいたします。**

オーガナイザー

筑波大学 学長特別補佐／URA研究戦略推進室室長 馬場 忠

IMAGINE
THE
FUTURE.

● セッションの背景

URAの役割

- 研究資金獲得や知財管理活用の研究支援者としての役割から、研究戦略策定や国内外政策情報の調査分析の役割へ変わりつつある
- 大学組織ごとに役割の個性化が進んでいる
- URAに対する要望が大学執行部と現場研究者で異なっている

URAの定着

- テニユア化、給与制度、業務の明確化は未だに途上の組織が多い
- 高度専門職としてのロールモデルが極めて少ない
- 大学執行部が定着化をしっかりと練っているのか？
- 多くのURAは有期雇用のまま大学ごとにURA業務の特徴化が進行



- 自己の目標設定やスキルアップ、将来のキャリアに不安をもつURA
- URAの獲得、配置、および育成に悩む大学執行部

● セッションのねらい

- 当事者であるURA自身が現状をどう受け止めて、どのようなあるべき姿を目指しているのか？
- どのようなスキルアップを必要としているのか？
- どうすればあるべき姿に近づけるのか？
- キャリアデザインに対するURAのさまざまな不安感を解消できるか？

URAに関する理想と現実のギャップを埋め、URAの
ミッション・存在意義を明確にして、URAの定着や
モチベーションアップに繋げたい！

●セッションのプログラム

①背景とねらいの説明

筑波大学

馬場 忠 氏

②基調講演

(株)三菱総合研究所

山野 宏太郎 氏

③自己分析

ワークシートの説明

④パネルディスカッション

香川大学

国土 佑未子 氏

大阪大学

藤井 翔太 氏

横浜市立大学

岡野 恵子 氏

(株)三菱総合研究所

山野 宏太郎 氏

筑波大学

岡林 浩嗣 氏

⑤まとめ